

2017年は、  
カスリーン台風から70年



濁流が流れ込んで被災した工場の内部（緑町二丁目）



渡良瀬溪谷鉄道の被害



激しい流れの中命綱を頼りに歩く人々（通二丁目）

# 防災講演会

カスリーン台風から70年を迎えて

参加  
無料  
(事前申込制)

昭和22年9月、マリアナ諸島東方海上に発生したカスリーン台風は、関東地方に記録的な豪雨をもたらし、渡良瀬川流域では大洪水となりました。あれから半世紀以上経ちましたが、決して忘れてはならない災害として、洪水による被害の恐ろしさを再認識するとともに、普段から洪水などの災害に対する心構えや備えをはじめ、渡良瀬川の整備や維持管理にご理解いただき、未来に向けて人と川との関わりをさらに大切にしていきたいと思えます。

9月21日 木

13:30 開演 (13:00 開場)  
会場：足利市民プラザ 文化ホール  
定員：400名 (事前のお申込みが必要です)

主催：渡良瀬川カスリーン台風70年実行委員会（足利市、栃木市、佐野市、桐生市、太田市、館林市、板倉町、邑楽町、栃木県、群馬県、独立行政法人 水資源機構 草木ダム管理所、気象庁 宇都宮地方気象台・前橋地方気象台、国土交通省 関東地方整備局 渡良瀬川河川事務所）  
後援：渡良瀬川治水同盟

# 2017年 9月21日(木)

13:00 開場 / 13:30 開演  
16:00 閉会予定

### 講演 1 カスリーン台風体験談

徳蔵寺住職

## 源田 晃澄



足利市猿田町のお寺、徳蔵寺の住職。4歳の時に、父、母、姉の4人でカスリーン台風遭遇し、強い印象を受ける。修行を終えて僧侶となつてからは、カスリーン台風で犠牲になつた方々の冥福を祈り、毎年の慰霊祭を続けている。また、災害の記憶を残し後世に伝えるために市内の中学校で、カスリーン台風の体験を伝える講演活動も続けている。

### 講演 2 カスリーン台風による洪水氾濫災害を学ぶ

群馬大学大学院理工学府教授

## 清水 義彦



東京都出身。東京工業大学大学院理工学研究科修士課程土木工学専攻終了。現在は群馬大学大学院理工学府環境創生部門教授。専門は河川工学。これまでの主な役職 / 土木学会水工学委員会河川部会長、社会資本整備審議会専門委員、群馬県河川整備計画審議会、国土交通省・大規模氾濫に対する減災のための治水対策検討小委員会委員、国土交通省・関東地方整備局鬼怒川堤防調査委員会委員など

### 会場のご案内

足利市民プラザ 文化ホール

〒326-0823

栃木県足利市朝倉町 264

TEL: 0284 (72) 8511

### アクセス

JR 両毛線「足利駅」より徒歩 20 分

東武伊勢崎線「足利市駅」より徒歩 10 分



## 参加お申込み方法 電話、FAX、メールにて 9/18 迄にお申込みください。

本チラシ下部のお申込みフォームに①氏名②住所③年齢④申込人数⑤職業⑥電話番号をご記入の上、FAXにてお送りください。なお、電話、メールでも受け付けています。メールの場合も、上記①～⑥をご記入の上、お申込みください。

お申込み先：わたらせ 川のふれあい館「せせら」

TEL 0284-44-3001

FAX ※電話受付 10:30～16:00 / 木曜休館 (9月は月・木休館)

メール sesera3001@gmail.com

### 【お問合せ】

国土交通省関東地方整備局渡良瀬川河川事務所  
TEL: 0284-73-5551

副所長：霞 調査課長：大須

(土・日・祝日を除く午前9時～午後5時)

防災講演会 FAX お申込みホーム		FAX 番号：0284-44-3001		
(ふりがな)		年齢	申込人数	職業
氏名		歳	名	
住所	〒			電話番号

※ご記入いただいた個人情報は、本講演会の運営でのみ使用いたします。